

ふしぎ



『まぼろしの
きょだい
巨大クラゲをさがして』

クロー・サバーグ / 作
よしいかずみ / 訳
BL出版

まだだれもみることがない、まぼろしのきょだいクラゲ。モーリーはかせは、けんきゅうチームのみんなとクラゲさがしのぼうけんへいくことになった。クラゲはみつかるだろうか。

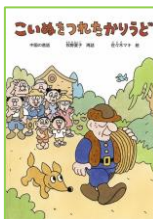


『ふしぎなつうがくろ』

花里真希 / さく
石井聖岳 / え
講談社



きょうからひとりで、とうこうはんのしゅうごうばしょにいくひろと。ひとりであるいていくのはいいきぶんです。でも、つうがくろはふしぎなことがたくさんおこります。



『こいぬをつれた
かりうど
中国の昔話 世界の昔話』

牧野夏子 / 再話
佐々木マキ / 絵
福音館書店

あるところに、としおいたかりうどとこいぬがいました。てっぽうをもたずにかりにでかけますが、なぜかかならずえものをもちかえるのです。どうやって、えものをとるのでしょうか。

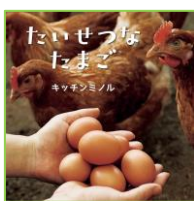
しごと



『しんかんせんのおしごと』

スズキタル / 絵
交通新聞社

おきやくさんをあんぜんにはこぶしんかんせんには、いろいろなしごとがあります。きつぷのはんばいやしゃないのそうじなど、とうかいどうしんかんせんの10このおしごとをしょうかいします。



『たいせつなたまご』

キチンミル / 著
白泉社

たまごをつくってとどけるハコニワ・ファームのいちにちは、にわとりたちのけんこうチェックや、エサやりからはじまります。だいにそでたたまごが、みんなのしょくたくにとどくまでをみてみましょう。



『パインさんの
ごちやまぜかんばん』

レオナード・ケスラー / さく
小宮由 / やく
大日本図書



まちのふるくなつたかんばんを、つくりなおしたパインさん。ところがつけかえるひに、めがねをなくしてしまいました。よくみえないままつけたかんばんは、どれもごちやまぜで、まちはおおさわぎ!

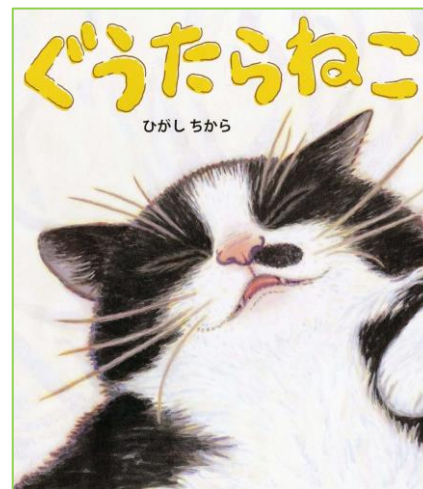
小学 1・2年生

あつまれ あまろい本

足立区立図書館

すきな本をさがそう!

「ひょうしのえがすき!」「よんでわらった!」本をたくさんよんですきな本をさがしてみよう。じゆうにえらんでたのしもう。



かぞく

『ぐうたらねこ』

ひがしちから / 作
佼成出版社



ねこのぐーちゃんはずっとぐうたらしているのに、なぜかみんなにほめられます。あるひ、はるくんがキーホルダーをなくしてしまいました。そこで、ぐーちゃんに「さがすのてつだってよ」とおねがいます。

☎ → あだち電子図書館でよめる本

📖 → よみやすい本

© Yo & Motoko

あだち電子図書館
くわしくはコチラ

発行 足立区立中央図書館
TEL 03-5813-3740





いきもの



『あまみ もりで ドングリを食べた?』

松橋光/写真
木元侑菜/文
新日本出版社

あまみのもりは、ドングリがなるシイのもり。シイのきにすをつくるキツツキや、ドングリをたべるケナガネズミなど、たくさんいきものがくらしているよ!



『きょうりゅう レントゲン びょういん』

キョン ハウソウ/ぶん・え
こまつようこ/やく
真鍋真/監修
パインターナショナル



きょうりゅうたちのびょういんには、いろいろなそうだんをしに、きょうりゅうがやってきます。レントゲンをとって、どんなかいけつさくがあるかさぐってみましょう。

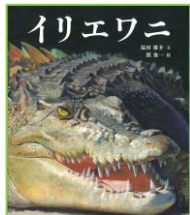


『トガリネズミ ひみつのくらし』

六田晴洋/写真・文
世界文化ワググループ



ほっかいどうにすむトウキョウトガリネズミは、せかいでいちばんちいさなどうぶつのひとつです。おもさはいちえんだま2まいぶん。ネズミというなまえだけれど、ほんとうはモグラのなかまです。



『イリエワニ』

福田雄介/文
関俊一/絵
福音館書店



オーストラリアにすむ、せかいさいだいのワニ「イリエワニ」。かむちからは、どうぶつのかなかでさいきょうです。なんでもはえかわるはをもち、サメすらもたべてしまいます。

ともだち



『それゆけ! ばあちゃんぐんだん!』

ジュディ・イスカー/作
木坂涼/訳
好学社

ばあちゃんぐんだんは、それぞれとぎをもっています。あるひ、ばあちゃんのひとりがドロボーをはっけんし、いそいでみんなをあつめます。はたしてドロボーをやっつけることができるのでしょうか。



『ぼくのひみつの ともだち』

フレック・ブラックウッド/作
椎名かおる/文
あすなろ書房

おとこのこのいえのとなりにあるちいさなもり。そこには、ともだちのぞうがいる。だがあるひ、そのもりのきが、きられることになってしまった。ぞうはどうなるの?



『シロツメクサは ともだち』

鈴木純/著
ブロンズ新社



シロツメクサは、はるにみちばたやこうえんなどでさいています。よくみかけるしよくぶつですが、シロツメクサはどのようにめがでて、はながさくのかをしてみてくださいか?



『ともちゃんとうし』

市川朔久子/作
おくやまゆか/絵
岩崎書店

がっこうにいきたくないともちゃん。なきながらかどをまがると、おおきなうしがすわっていました。うしは「もっ」となくと、ともちゃんをせなかにのせてあるきだしました。

おもしろい



『ぼくの ペンギンはどこ?』

サム・アッシャー/作・絵
吉上恭太/訳
徳間書店



ペンギンのぬいぐるみがどこかへいってしまいました。いろいろなところをさがしますが、やっぱりみつかりません。まださがしてないちかしつを、おじいちゃんとさがします。



『おちば』

おーなり由子/ぶん
はたこうしろう/え
ほるぷ出版

かぜのおとがざあざあなって、あかいっぱがおちてきた。かさこそ、ぱり。おちばをあつめてかかえて「それっ!」となげると、あおぞらっぱいに、おちばのいろがひろがっていったよ。

かぞく



『スナックこども』

令丈ヒロ子/さく
まつながもえ/え
理論社

イヤなことがあって、ゆのんはモヤモヤしています。こんなときにくのは「スナックこども」。おみせにはこどもママやこどものおきやくさんたちがいて、はなしをたくさんきいてくれます。



『ガラガラ がらくた! ?』

エミリー・グラレット/作
なががわちひろ/訳
BL出版



カササギのメグとアッシュは、ひなのためにすをつけています。もってきたものは、とけいにぬいぐるみ、ベビーカー!ほかにもたくさんつめこむと、とうとうすがガラガラとおちてしまいました。